

課題番号： 12

テーマ名称：都市部における廃棄物管理・資源循環

1. 主な対象国・地域	<p>アフリカ大陸の全 54 カ国を対象とする。</p> <p>なお、以下の国では当該分野の JICA 協力を実施中であり、下記 4. 以降の記載はこれらの国を例として具体的な課題等を記載しているが、類似の課題を有する他の国での提案も勧奨する。</p> <p>ケニア、モロッコ、ナイジェリア、モザンビーク、コンゴ民主共和国、南アフリカ</p>
2. 分野	都市課題・経済回廊（インフラを含む）
3. 関係する SDGs ターゲット	<p>11.6</p> <p>2030 年までに、大気質、自治体などによる廃棄物管理への特別な配慮などを通じて、都市部の一人当たり環境影響を軽減する</p> <p>12.1</p> <p>持続的な消費と生産に関する 10 年枠組みプログラム（10YFP）を実施し、先進国主導の下、開発途上国の開発状況や能力を勘案し、すべての国々が対策を講じる。</p> <p>12.4</p> <p>2020 年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じて化学物質やすべての廃棄物の環境に配慮した管理を達成し、大気、水、土壌への排出を大幅に削減することにより、ヒトの健康や環境への悪影響を最小限に留める。12.5</p> <p>2030 年までに、予防、削減、リサイクル、および再利用（リユース）により廃棄物の排出量を大幅に削減する。</p>
4. 対象国・地域の当該分野の全般的な現状	<p>アフリカの主要都市では急激な人口増加と都市への人口集中により、発生する廃棄物量も急増の一途にある。（人口 100 万超は 50 都市以上、1,000 万超のメガシティが 6 都市を数える。）</p> <p>他方、基礎インフラ及び行政サービス能力の不足により、同地域の廃棄物収集量は 48%（先進国 98%、南アジア 65%）と低く、未収集ごみの放置、不法投棄及び処分場の不適切な運用による環境汚染や公衆衛生の悪化等が懸念されている。</p>
5. 解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none">・ 収集・運搬の適正化及び不法投棄削減による都市環境の適正化・ 最終処分場の適正管理による経路・周辺への環境影響抑制・ 分別回収の推進及び 3R/資源循環によるごみ減量（発生抑制・削減・再生利用）・ 都市の公衆衛生の改善（感染症等、健康被害）

	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみの発生抑制（海洋ごみ対策にも貢献） ・気候変動対策への寄与（コンポスト、バイオガス、温室効果ガス発生抑制）
6. 上記をとりまく状況	<p>アフリカにおける廃棄物管理体制・技術の改善余地は大きく、発生源での抑制から、収集・運搬、最終処分、再利用・資源循環に至るまで廃棄物管理の各プロセスで本邦技術及び製品の導入可能性が見込まれる。更に、各国に共通して人口増加率及び都市部への人口集中率の高さが顕著であり、関連市場規模の拡大が続くと予想される。</p>
7. 活用が想定される技術・製品・ビジネスモデル	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬・収集機材の導入による効率的な廃棄物管理 ・中継・最終処分場の日本型運営ノウハウ ・生分解プラスチック等代替素材の開発・製造 ・廃棄物の再資源化技術及び関連製品の展開 ・廃棄物処理技術（有機廃棄物の肥料化、炭化、真空乾燥等）
8. 主要関連政府機関・ステークホルダー	<p>以下参照。 http://africancleancities.org/JP/member_focal_point.html</p>
9. 当該国・課題に対する日本政府・JICAの方針・戦略、関係するODA事業、他ドナー情報	<p>廃棄物管理分野 ポジションペーパー https://www.jica.go.jp/activities/issues/env_manage/ku57pq00002cu9rb-att/position_paper_solid_waste.pdf</p> <p>廃棄物管理分野 課題別指針 https://www.jica.go.jp/activities/issues/env_manage/ku57pq00002cu9rb-att/guideline_solid_waste_management.pdf</p> <p>「アフリカのきれいな街プラットフォーム」ウェブサイト http://africancleancities.org/</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ各国に対する事業展開計画 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/region/index.html#section1 ・JICA 開発途上国課題発信セミナー 廃棄物管理分野 https://www.jica.go.jp/priv_partner/information/2018/ku57pq00002aw02r-att/ku57pq00002bddya.pdf ・SDG ポジションペーパー ゴール 11 https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/ku57pq00002e2b2a-att/goal11_j.pdf
10. 留意点・リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・対象国の治安状況に応じた安全対策が必要 ・ウエストピッカー等インフォーマルセクターへの留意 ・公共サービスの民間委託制度・法令が未整備
11. 参考情報	<p>（地域全体の廃棄物管理に係る概要に関する情報）</p>

	<p>African Waste Outlook (UNEP, 2018) https://www.unenvironment.org/ietc/resources/publication/africa-waste-management-outlook-0</p> <p>What a Waste 2.0: A Global Snapshot of Solid Waste Management to 2050 (World Bank, 2018) https://openknowledge.worldbank.org/handle/10986/30317</p>
--	---

※科学技術イノベーション（STI）を含む新しい技術の活用の積極的な提案を期待しています。

【STI (Science, Technology and Innovation)】

科学的な発見や発明等による新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造と、それらの知識を発展させて経済的、社会的・公共的価値の創造に結びつける革新。アフリカでは、モバイル技術等を活用した革新的なサービスも急速に普及してきており、課題解決及び SDGs 達成のツールとして STI の活用が期待されています。革新的な技術により、これまで開発の成果が届かなかった人、場所に開発の成果を届けることができたり、革新的な効率化や質の向上を図り、時間的、費用的にコストを大幅に引き下げるなどの効果が見込まれます。